

## 2 豊かな森林を育む担い手づくり

新規就業者は47名で前年比約3割増となり、実践的な研修により森林整備に必要な技術の習得を支援しました。また、県民参加による森林づくり活動の参加者は約25,000人で、前年比約3割増加しました。企業が社会貢献活動として実施する森林づくり活動が進みました。

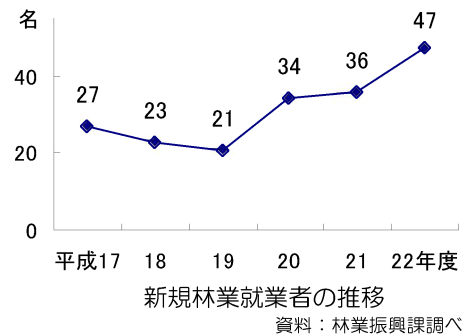
### (1) 森林を守る人づくり

#### ○ 新規就業者

(新規就業者が増加)

・新規林業就業者は47名で、前年に比べ11名増加しました。

これは、森林組合等が森林整備を推進するため、新規就業者の確保に努めていることが要因と考えられます。



#### 【実施した主な内容】

(就業相談会を汗田して担い手を確保)

・県による「ふくおか農林漁業就業セミナー及び就業相談会」の開催や、北部九州4県合同による「森の仕事ガイダンス」の開催により、新規就業者の確保に取り組みました。

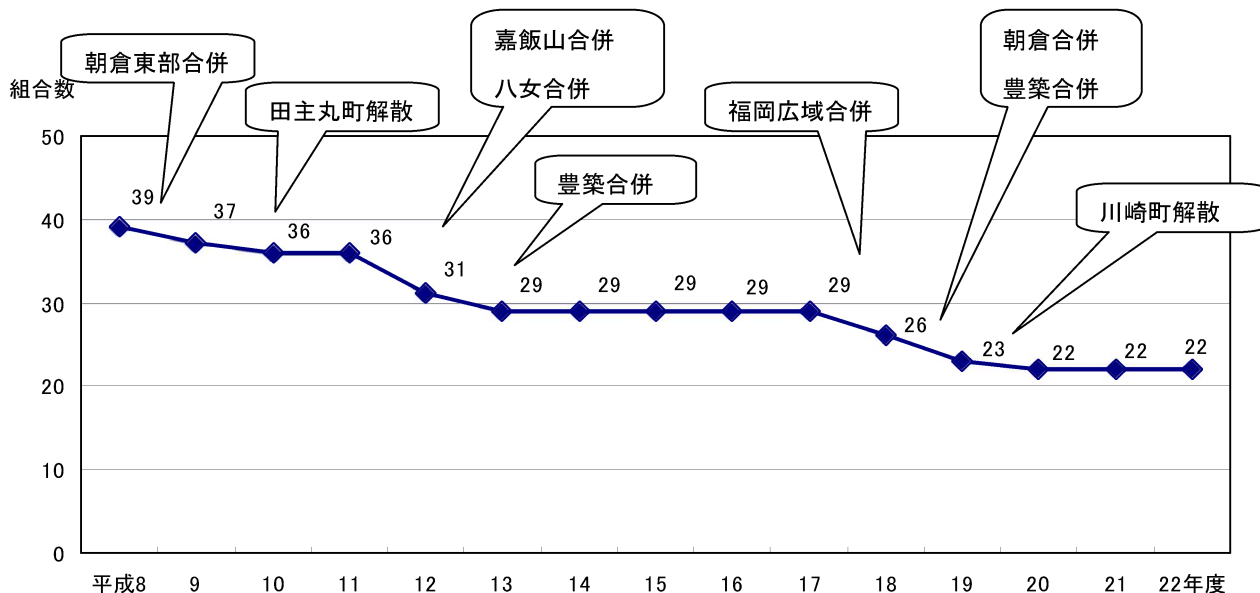


## (2) 森林を守る組織づくり

### 【広域合併に向けた取組を支援】

・健全で自立的な森林組合の経営を実現するためには、さらなる広域合併により、組織体制の強化や財務基盤の確立が必要です。

森林組合系統は、21年に発足した「福岡県1県1森林組合合併推進研究会」に組織、財務及び事業の3部会を設置し、広域合併に向けた課題についてそれぞれ検討を進めています。この研究会には県も参画し、広域合併に向けた指導・助言を行っています。



森林組合数の推移

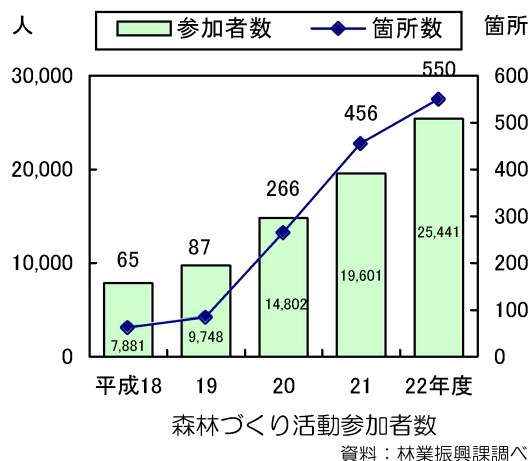
資料：団体指導課調べ

### (3) 森林を支える活動

#### ○ 県民参加の森林づくり

(森林づくり活動の参加者が増加)

・県民参加による森林づくり活動への参加者は約 25,000 人で、前年に比べ約 6,000 人増加しました。森林環境税の導入により、森林を県民共有の財産として守り育てる意識が高まっていると考えられます。



#### 【実施した主な内容】

(企業による森林づくり活動が拡大)

・企業が社会貢献活動として実施する森林づくり活動が進み、6社、約1,900人が参加しました。

・23年2月、北九州市八幡東区で、県のフィールド紹介や指導者派遣等の支援により、(株)福商が森林づくり活動を実施し、クヌギ約600本を植栽しました。



企業による森林づくり活動